

質疑応答模様 ー個人投資家向け会社説明会ー

開催日：2017年12月10日（日）

場 所：大和コンファレンスホール（東京都千代田区）

Q1. 2025年頃を目標にグローバルトップ5を目指すとのことですが、特に意識している企業はありますか。

A1. 当社は昨年度でグローバル9位前後に位置しています。当社よりも上位の企業はIBMやアクセンチュア、HP（ヒューレット・パッカー）、デロイト・トーマツ・コンサルティング、PwC（プライスウォーターハウスクーパース）、富士通、タタ・コンサルタンシー・サービスなどです。これらはハードベンダーやコンサルティング会社、インドのITサービス企業です。各社を意識し、それらとは違う価値を提供していきたいと考えています。

おそらく2017年は、Dellグループのサービス部門が仲間に入ったことで、Global TOP6～7位くらいにはなるのではないかと思います。

Q2. 各国の市場でトップ10を目指すとのことですが、その理由は何ですか。また2016年の主要各国の順位を教えてください。

A2. 当社はグローバルでビジネスに取り組む企業に対し、サービスを提供し、価値を上げていきたいと考えています。各国のITサービスベンダーランキングでおよそ10位以内に入ることで、グローバルでビジネスに取り組む大企業のお客様からより多くの提案機会を頂けるようになると考えております。そのため、各国でのプレゼンスを高めることが重要だと考えます。現在の各国での順位は、北米では40位程度で、Dellグループのサービス部門が加わっても20位前後です。ドイツは7位、スペインは6位、イタリアは9位程度です。中南米ではチリやペルーで10位以内に入っています。今後とも各国でのプレゼンス向上に努めていきたいと思っています。

Q3. 海外事業を成長させるために、特に重視している地域や国があれば教えてください。

A3. ITサービス市場の半分を占める北米で確実にビジネスを成長させないと、グローバルでは戦っていけないと考えます。今後も引き続き北米については注力していきたいと思っています。西欧もまだまだ伸び代があります。特にU.K.でのプレゼンスはまだまだ低いため、M&A等を通じてプレゼンスを高めていきたいと思っています。

Q4. 2016年に海外で大型のM&A、Dellグループのサービス部門を買収しましたが、事業統合やシナジーは想定通りに進捗していますか。

A4. 2016年11月にDellグループのサービス部門が当社の仲間に入りましたが、一つの会社を当社がM&Aしたのではなく、Dellグループがグローバルで展開しているビジネ

スのうち、そのサービス部門を当社が譲り受けた形になります。そのため各国ごとに会社を作り、資産を移すという作業を行っており、2018年度の第1四半期くらいまで統合作業を進めています。ビジネス体制なども変えていかなければならないので時間を要しますが、統合を最優先で進めています。統合後、非常に強みのある領域がいくつもあるので、シナジーを発揮し、これまでお客様に提供できなかった価値を高めて、ビジネスを拡大していきたいと思えます。

Q5. NTTグループ内でも持株会社やドコモは自社株買いを実施していますが、御社では株主還元強化のために自社株買いは行わないのですか。

A5. 当社はIT領域での先行投資やM&Aが非常に重要だと考えています。そのため自社株買いの優先度は低いと考えています。今後ともキャッシュフロー創出能力を高め、事業に必要な投資額以上にキャッシュフロー創出能力が高まれば、検討していきたいと思えます。